

・文章を読んで、質問に答えましょう

昔の家庭では、水道がまだ普及しておらず、井戸から水をくんで生活していました。井戸は地面を深く掘り、地下水をくみ上げる仕組みになっています。水をくむときには、つるべやポンプが使われました。つるべは縄と桶を使って手動で水をくむ道具で、重労働です。

井戸水は、冬でも冷たくなりすぎず、夏には冷たく感じられることから、飲み水だけでなく、野菜や飲み物を冷やすためにも使われていました。

その後、水道が整備されるようになり、蛇口をひねるだけで水が出るようになりました。井戸を使う家庭は少なくなりましたが、今でも一部の地域では災害時の備えとして井戸が残されています。

1. 井戸は、どのようにして水を得る仕組みですか。

()

2. 水をくむときに使われた道具には何がありますか。

()

3. 井戸水は、夏と冬でどのように感じられますか。

()

4. 水道が整備されて、生活はどのように変わりましたか。

()

5. 今でも井戸が残されているのはなぜですか。

()

★発展コミュニケーション

- ・ 井戸水を使ったことがありますか。どんな思い出がありますか。
- ・ 昔の生活道具で、他に知っているものはありますか。

氏名 _____ 年 _____ 月 _____ 日()